

## 第四回 「世界の日本語学習者 《日本語作文コンクール》」

### 「【俳句】コンテスト」

「俳句」は「五・七・五の17音」で綴る『世界で最も短い文学』です！

一・テーマ＝【「俳句1句」と、「30字前後の説明文（季節、場所など）」】

《【俳句】の「題」は自由（自然、社会、文化、日本・日本人、日本語学習など）》

《一人で3句まで、応募できます》（「季語」のない俳句も、応募できます）。

二・【応募資格】＝日本語を勉強・研究している外国籍の人は、誰でも応募できます。

三・【締め切り】＝2020年（令和2年）12月31日（木）必着

四・【応募方法】＝メール添付のみ [yuraumi@yahoo.co.jp](mailto:yuraumi@yahoo.co.jp)（大森和夫）へ

「国籍、氏名、年齢、性別、学校名か職業、連絡先・メールアドレス」を明記。

（個人の応募でも、大学・日本語学校・日本語教室などからの応募も可）。

参考資料 デジタル日本語教材「『日本』という国」（HP：<http://www.nihonwosiru.jp/>）

◇「四章（自然）」の、四季の「季語」と「俳句」

◇「八章（文学）」の「三節（俳句、..）」の「一・松尾芭蕉。俳句の基礎知識」

#### 【賞品】

・一等賞＝ 2人→

賞状＋《海外在住者・日本招待8日間。日本在住者・学習奨励金20万円》

・二等賞＝ 5人→賞状＋学習奨励金・ 5万円

・三等賞＝ 15人→賞状＋学習奨励金・ 3万円

・努力賞＝ 30人→賞状＋学習奨励金・ 1万円（賞状は、いずれもPDF送付）

#### 【審査】

○「一次審査」＝大森和夫・大森弘子が一次審査を行い、「入賞候補・約100句」を選びます。

○「二次審査・最終審査」＝5人が「入賞候補の句」を採点、最終審査を経て順位を決定します。

◇二次審査員 川村 恒明（元・文化庁長官。公財「日本ナショナルトラスト」副会長）

倉田 任子（「療」同人）

小池美樹彦（日本語教師。「甲羅句会」同人）

小暮かつみ（「ひろそ火」同人）

津田 耕嗣（「東京都荒川区俳句連盟」元会員） 《五十音順。敬称略》

【発表】 2021年（令和3年）4月。 《表彰式は、5月以降の予定》

ホームページ：国際交流研究所 <http://www.nihonwosiru.jp/> で。

主催＝大森和夫・大森弘子（190-0031 東京都立川市砂川町2-71-1-C621）

後援＝国際交流基金。朝日新聞社。

協力＝笈川幸司（中国在住・日本語教師）。段躍中（日本僑報社）。 《敬称略》